

1 情勢報告

中土佐町大野見産ブランド米のPR・販売（10月16日）



中土佐町大野見で10月16日に開催された「第6回おおのみ新米フェスタ」に、今年も大野見産米エコ研究会が参加しました。化学肥料や農薬使用量を減らした『特別栽培』と慣行栽培の新米‘ヒノヒカリ’、‘にこまる’を販売しました。等級別、栽培方法別に3kg、5kgそして30kg袋で販売し、売れ行きは良く、追加で玄米を精米する場面も見られました。また炊き立ての新米を味わって頂き、「美味しい、香りがいい」と大変好評でした。

今後も振興センターでは、大野見産ブランド米の確立に向け、特別栽培の技術支援を行っていきます。

中土佐町大野見地区での集落座談会の開催（10月17～20日）



中土佐町大野見の3集落（奈路、吉野、神母野）を対象に10月17日、19日、20日に集落座談会を開催しました。

座談会では、集落営農に取り組む先進事例のDVDを視聴し、各集落毎の農業就業人口や経営耕地面積、高齢化率の推移などと集落営農のタイプ等を説明し、集落営農について理解を深めて頂きました。

いずれの集落も、「今後5年のうちに農作業ができなくなる」、「テレビなどを観て集落営農に関心を持っていた」、「機械の共同利用をしたい」と、集落の将来に不安を抱いていることがわかりました。

振興センターでは、アンケート等に基づき11月下旬には県内の先進地視察を支援し、関係機関と連携し集落営農の推進をしていきます。

JA土佐くろしおインゲン部会の現地検討会が開催されました



10月21日に須崎市神田と中土佐町上ノ加江において、インゲン部会の現地検討会が開催され、初期管理や病虫害防除について確認しました。

両方の会場に参加する人も多く、仕立て方法や栽培管理について活発な意見交換が行われました。

振興センターでは、ステージにあわせた栽培管理の徹底ができるよう今後も支援していきます。